

興人社 特別海外市場レポートシリーズ 生産有望拠点別分析 I '2021



調査の目的

コロナという未曾有のパンデミックにより世界情勢は大きく変化しようとしています。そしてアフターコロナ後をみすえた取り組みも各企業では水面下では行われている模様です。そして、産業界にとって大きなテーマの1つとしてはグローバルサプライチェーンが挙げられます。いままではどこで売るかということがどこで作るかより重要視されている感がありましたが、今後は中国以外に生産を移す等数年かけておおきな動きが予想されます。そこで本レポートでは日系企業（製造業）にとってネクストチャイナとなるべく国をピックアップし、各種の条件より分析しています。今後は国別の詳細、外資企業の動向、特定企業の動向等を掘り下げていこうと思っています。今回はその第1弾となります。

項目（全国同一項目）

- 1 国の概要（人口、面積、GDP、等）
- 2 日系進出企業および経済特区
- 3 人口優位性・人材
- 4 輸出および国内市場の有望性
- 5 法規について
- 6 物流インフラ（陸路 他道路舗装率）
- 7 その他（親日度、政治的要、災害因等）
- 8 日系メーカーの動向
- 9 分析

対象業界

輸送機器 情報通信機械 電気機械 一般機械 食料品 繊維

対象国

アジア・オセアニア

インドネシア・ベトナム・タイ・フィリピン・マレーシア・カンボジア
バングラディッシュ・インド・スリラン・モンゴル・オーストラリア

その他地域

ブラジル・メキシコ・ロシア・トルコ・アブダビ・ドバイ(アラブ首長国連邦)
南アフリカ・エジプト・ケニア・モロッコ・ナイジェリ

資料名	世界有望生産拠点別分析Ⅰ '2021
発刊日	発刊日2021年5月14日予定
体裁	体裁 A4判 200頁

価格	PDF判 定価 50,000円 (税別) ハードコピー判 定価 65,000円 (税別)
----	---

申込先	株式会社 興人社 編集部 〒336-0022 埼玉県さいたま市南区白幡4-1-24-105 TEL 048(865)8516 FAX 048(865)8534 E-MAIL kojinsya@basil.ocn.ne.jp HP https://www.kojinsya.co.jp/
-----	--

〔申し込み方法〕

お申し込み、お問い合わせ方法はお電話か、上記Eメールで興人社編集部宛に資料名とご連絡先を明記の上、御送付下さい。
別途、内容見本詳細を用意しております。

内容見本1

マレーシア②

条件	コメント
日系進出企業および経済特区	2018年9月時点で、日本企業の1,385社（内製造業691社、非製造業681社）がマレーシアに進出 2009年以降にサービス産業の自由化を発表し、それまでの外資の資本規制を緩和。現在は製造業、流通・サービス業では、一部を除き、100%外資が認められている。
人口優位性・人材	2021年のマレーシアの人口は3,000万人、労働力人口は1,700万人、労働力人口の7割が労働年齢人口で、高齢者数は10%程度である。 人手不足は深刻になり、賃金上昇を招いている。 飲食業は人材確保で苦戦している。
輸出および国内市場の有望性	出生率も高く今後の人口増加が期待される。 国内市場も購買力が見込める。
法規について	マレーシアでは労働者を雇う際には労働法に基づき労働契約書を締結する必要がある。 また、雇用契約書に付随する就業規則は労働契約書には社長の承認が必要である。
物流インフラ（陸路 他道路舗装率）	マレーシアでは、マハティール政権時代に大規模なインフラ整備が行われ、現在でも先進的な経済である。 マレーシアは、1,000億円のインフラ整備を進んでいると考えられる。 公共交通インフラの整備が進んでいる。
その他（親日度、政治的要因、災害因等）	同国の親日度が上がったのは1981年、マレーシアの首相に就任したマハティールが提唱したルックイースト政策（東方政策・Look East Policy）この政策は日本の集団主義と勤労倫理を学ぼうというものである。現在では10年以上マレーシアは日本人が移住したい国ナンバー1であり、日本人にとって生活しやすい国というイメージが定着これもマレーシアの親日度が影響しているものと思われる。

見本

内容見本 2

ホンダ

	コメント
製造初参入時期	1971年
P.T. Astra Honda Motor 第一工場	所在地: ジャカルタ 生産品目: 二輪車 生産能力: 85万台/年
P.T. Astra Honda Motor 第二工場	所在地
P.T. Astra Honda Motor 第三工場	所
P.T. Astra Honda Motor 第四工場	所
P.T. Astra Honda Motor 第五工場	所
P.T. Honda Prospect Motor 第一工場	所
P.T. Honda Prospect Motor 第二工場	所
P.T. Honda Power Products Production工場	所
P.T. Honda Precision Parts Manufacturing工場	所
生産状況	20 イ H 社 時0 くご Hondaの (以下、HPM) は、本日、新四輪車工場である第二工場の稼働を開始しました。これを記念した式典を開き、インドネシアの工業省高官を来賓としてお招きし、Hondaからは代表取締役社長執行役員の伊東孝紳（いとう たかのぶ）などが出席しました。

見本

明

13